
令和5年度予算案の要点

令和5年2月
奈良県

令和5年度予算編成にあたっての考え方

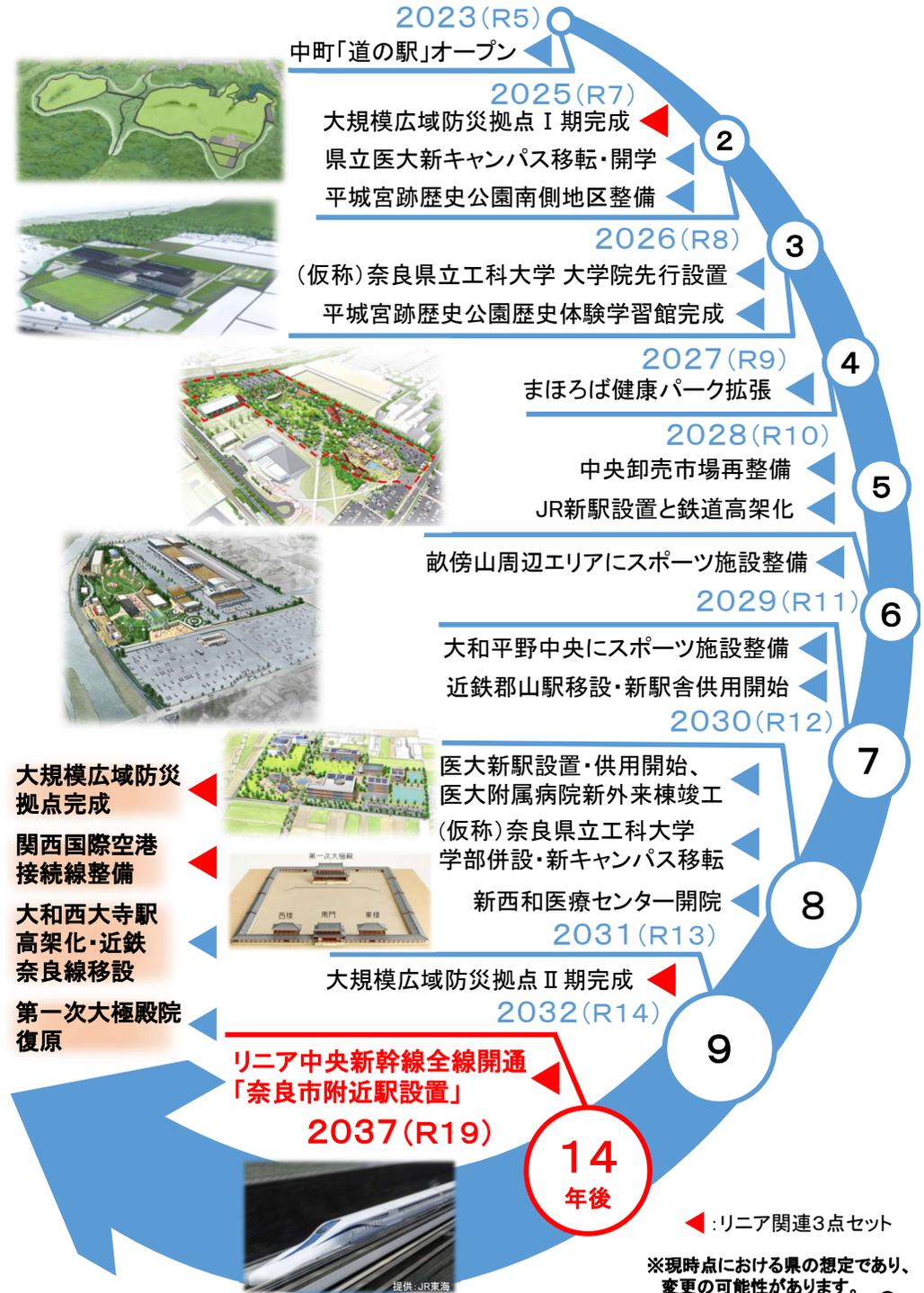
- 知事就任以来、16年間にわたり、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを県政の目指す姿とし、その実現のために、知恵と工夫を凝らして取り組んできました。
- 特に、工場誘致や観光振興などに力点を置き、本県の最大の課題である「脱ベッドタウン化」を進めた結果、工場立地件数が近畿2位に、有効求人倍率が近畿トップクラスになり、また、県外就業率は全国ワースト1位から脱却するなど、取組が実を結んできたことを実感しています。
- 経済活性化に大きく寄与する幹線道路の整備や、医療の充実も進みました。また、コンベンションセンターをはじめ、雇用を産み、地域を活性化する特色ある施設も、次々にオープンしています。さらに、がん死亡率の減少率や健康寿命、障害者雇用率、女性の就業率の伸び率や合計特殊出生率の伸び率も全国有数になっています。様々な分野で、躍進する本県の姿をお見せできるようになってきました。
- 現在、奈良県の未来の発展に向けた大きな動きが、目の前に展開されつつあります。令和5年度はいよいよ、リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置に向けた環境影響評価が開始されます。大規模広域防災拠点も、本格的に整備に着手いたします。また、大和平野中央の地で「デジタル田園都市」を実現する構想も、具現化に向けて力強く進めます。このほか、奈良県立医科大学の整備や中央卸売市場の再整備、県域水道一体化等の本県発展の礎となる歴史的なプロジェクトが、軌道に乗りつつあります。
- これらの「良くなる奈良を、もっと良く」するプロジェクトの実現に向けた様々なアイデアを盛り込み、「奈良新『都』づくり戦略2023」を取りまとめました。また、戦略の実現に向けた取組を体系的かつ継続的に推進するため、これからの県政の根幹となる多くの条例の制定を進めています。
- 令和5年度予算では、これらの戦略、条例を土台に、いま、本県に到来している大きな波を的確にとらえ、しっかりと未来に向かって歩みを進めます。これまでの成果を踏まえ、確かなエビデンスに基づいて戦略に練り上げ、全力で実行してまいります。



リニア中央新幹線「奈良市附近駅設置」と関連する事業の実現

2037年(R19年)のリニア中央新幹線全線開業が迫っており、**リニア関連3点セット**の実現を基軸に、様々なプロジェクトを進めています。

- ①リニア中央新幹線「奈良市附近駅設置」
- ②大規模広域防災拠点の整備
- ③関西国際空港接続線構想



令和5年度予算案について

一般会計の予算規模

令和5年度当初予算案 5,329億19百万円

〔 令和4年度当初予算 (5,503億10百万円) 比
△173億91百万円 △3.2% 〕

<主な増加要因>

- ・奈良県立医科大学の移転整備 (新キャンパス先行整備等) + 55億円
- ・大和平野中央田園都市構想の推進 + 34億円
- ・県税交付金 + 27億円
- ・社会保障関係経費 + 17億円
- ・中町「道の駅」整備 + 11億円
- ・知事及び県議選執行経費 + 6億円

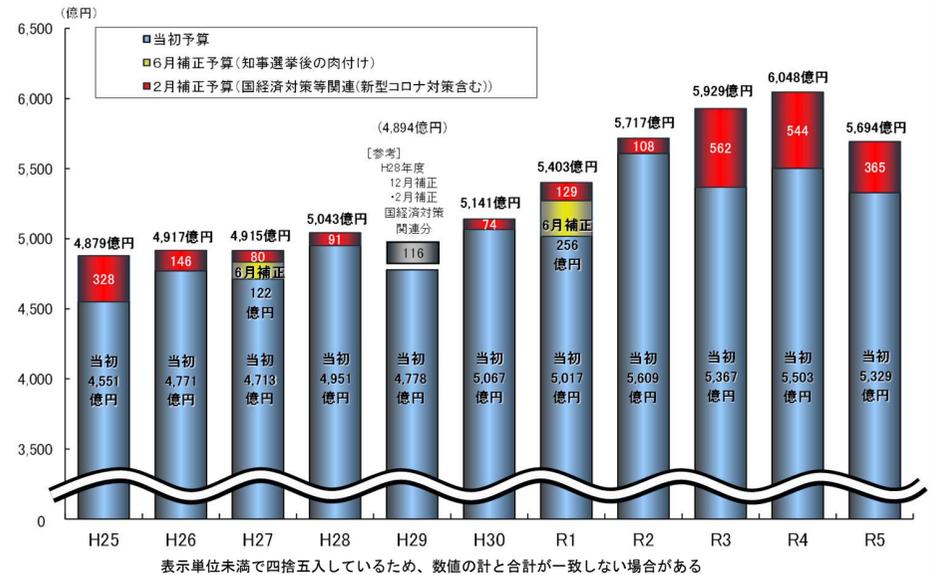
<主な減少要因>

- ・公共事業 △116億円
- ・災害復旧事業 △45億円
- ・人件費 (退職手当等) △48億円
- ・公債費 △29億円
- ・大規模広域防災拠点の整備 △23億円
- ・県立高等学校の耐震化整備 △7億円
- (新型コロナウイルス感染症対策関連)
- ・緊急小口資金等の特例貸付原資造成補助金 △48億円
- ・新型コロナウイルス感染症関連制度融資 △9億円

令和5年度当初予算案 (5,329億19百万円) +
令和4年度2月補正予算案 (開会日提出分) (364億81百万円)
= 5,694億円

〔 令和4年度当初予算 (5,503億10百万円) +
令和3年度2月補正予算 (開会日提出分) (544億44百万円)
= 6,047億54百万円比
△353億55百万円 △5.8% 〕

一般会計予算規模の推移



県税等 ⑤ 209,813百万円 (R4比+4,637百万円 + 2.3%)
〔 県税 ⑤ 124,800百万円 (R4比△1,200百万円 △ 1.0%)
地方消費税清算金 ⑤ 60,183百万円 (R4比+5,745百万円 +10.6%)
地方譲与税 ⑤ 24,830百万円 (R4比+ 92百万円 + 0.4%) 〕

地方交付税+臨時財政対策債 ⑤ 172,900百万円 (R4比△4,800百万円 △ 2.7%)

財政調整基金繰入金 ⑤ 一億円 [④ 30億円]

交付税措置のない県債残高と県税収入額との比率 ⑤ 2.8倍 [④ 2.8倍]

歳入歳出予算案

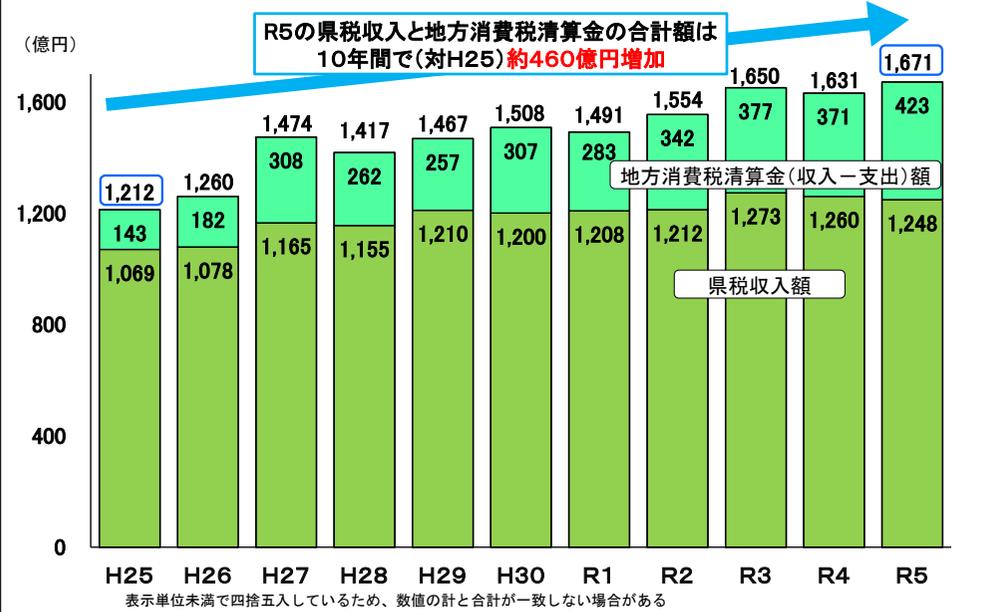
(単位: 百万円、%)

区分	令和5年度 当初予算案	令和4年度 当初予算額	増減額	増減率
歳入	532,919	550,310	△ 17,391	△ 3.2
県税等	209,813	205,176	4,637	2.3
県税	124,800	126,000	△ 1,200	△ 1.0
地方消費税清算金	60,183	54,438	5,745	10.6
地方譲与税	24,830	24,738	92	0.4
地方交付税	167,900	167,200	700	0.4
国庫支出金	56,998	73,719	△ 16,721	△ 22.7
繰入金	28,225	23,308	4,917	21.1
諸収入	13,763	12,844	919	7.2
県債	45,095	54,969	△ 9,874	△ 18.0
うち臨時財政対策債	5,000	10,500	△ 5,500	△ 52.4
その他	11,125	13,093	△ 1,969	△ 15.0
歳出	532,919	550,310	△ 17,391	△ 3.2
義務的経費	231,432	239,361	△ 7,929	△ 3.3
人件費	138,472	143,305	△ 4,833	△ 3.4
扶助費	15,229	15,391	△ 162	△ 1.1
公債費	77,731	80,664	△ 2,934	△ 3.6
投資的経費	73,636	85,623	△ 11,987	△ 14.0
普通建設事業費	71,809	79,255	△ 7,446	△ 9.4
災害復旧事業費	1,827	6,368	△ 4,541	△ 71.3
一般施策経費	227,851	225,327	2,525	1.1
維持補修費	5,767	5,383	384	7.1
補助費等	163,825	165,767	△ 1,943	△ 1.2
うち県税交付金等	54,964	52,290	2,674	5.1
積立金	5,379	5,926	△ 547	△ 9.2
繰出金	30,167	24,911	5,257	21.1
その他	22,714	23,340	△ 626	△ 2.7

表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある

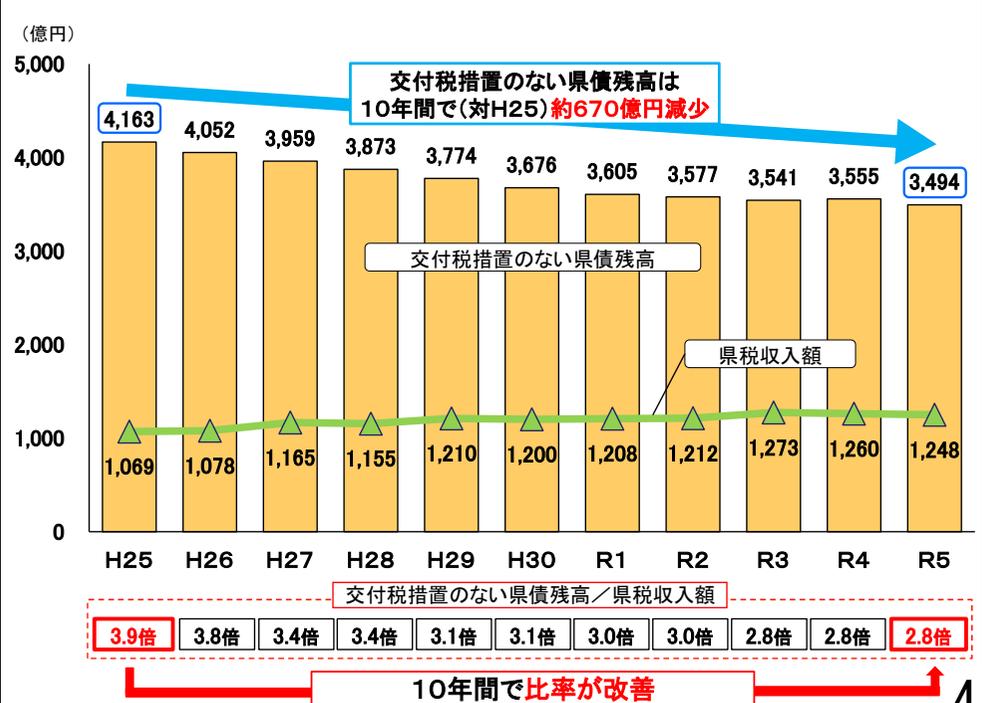
県税収入額と地方消費税清算金額の推移

(R3までは決算額、R4は2月補正予算案(開会日提出分)後、R5は当初予算案)



交付税措置のない県債残高と県税収入額の推移

(R3までは現在高、R4は2月補正予算案(開会日提出分)後、R5は当初予算案)



I 栄える「都」をつくる

～奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業しやすい奈良県にする～

1 地域経済活性化		ページ
1	新しい時代の地域資本主義の推進	10
2	工場誘致・工業ゾーンの創出	11
3	県内産業への研究開発支援の強化	12
4	漢方のメッカ推進プロジェクト	13
5	県産品の海外販路、国内販路の拡大	14
6	売る力の強化・商店街活性化	15
2 地域雇用戦略		ページ
7	地域雇用政策の推進	16
8	奈良県版働き方改革の実践	17
9	障害者雇用対策の推進	18

II 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着		ページ
10	ホテル誘致	20
11	奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興	21
4 魅力ある観光地づくり		ページ
12	奈良県観光総合戦略の実行	22
13	奈良公園中枢地プロジェクト(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)	23
14	大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備	24
15	平城宮跡歴史公園の整備	25
16	中町「道の駅」の整備	26
17	自転車の周遊環境整備と安全利用	27
5 魅力向上・発信		ページ
18	食の振興	28
19	海外・東京プロモーションの展開	29

III 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

6 「安全安心な地域」づくり		ページ
20	大規模広域防災拠点の整備	31
21	消防学校教育の充実、県内消防組織への支援	32
22	大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備	33
23	土砂災害対策の推進	34
24	日本一災害に強い奈良県を目指す対策	35
7 「きれいな奈良県」づくり		ページ
25	なら四季彩の庭づくりの推進	36
26	馬見丘陵公園を誇らしい花の公園に整備	37
27	きれいな川づくり	38
28	道路の無電柱化	39
8 暮らしやすいまちづくり		ページ
29	土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現	40
30	奈良県のすまい方改善	41
31	県内の交通サービスの確保と利便向上	42
32	自治会等との連携協力強化	43
9 地域で子どもを健やかに育てる		ページ
33	子育てと仕事を普通に両立できる社会の実現	44
34	就学前児童のはぐくみ	45
35	子どもの通学通園路の安全確保	46
10 女性活躍の推進		ページ
36	希望がかなうジェンダーフリーな社会の実現	47

Ⅳ 便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる～

11 道路整備		ページ
37	京奈和自動車道等の整備	49
38	大和平野中心部の道路整備(国道163号・国道168号と周辺道路)	50
39	大和平野中心部の道路整備(大和中央道・阪奈道路結節点)	51
40	アンカールート国道168号の整備	52
41	アンカールート国道169号の整備	53
42	大和平野東部の道路整備	54
43	道路の維持管理の計画化・体系化	55
44	奈良県の新しい道路整備の仕組	56
45	円滑な用地買収・用地補償	57
12 鉄道整備		ページ
46	大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設	58
47	JR新駅の設置と鉄道高架化	59
48	リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線	60
13 バス輸送環境整備		ページ
49	路線バス輸送サービスの改善とバス停アメニティの向上	61

Ⅴ 健やかな「都」をつくる

～健康寿命日本一を目標に、高齢者、障害者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域をつくる～

14 健康寿命日本一を目指した健康づくり		ページ
50	健康増進施策の推進	63
51	がん対策の推進	64
52	高齢者の社会参加といきいきとした活動の促進	65
15 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実		ページ
53	国保の県営化の円滑な推進	66
54	地域医療構想の推進、医師確保計画の推進	67
55	新型コロナウイルス感染症対策	68
56	医療費適正化	69
57	地域包括ケア・在宅医療の充実	70
58	県立医大の移転、医大病院施設・新外来棟の整備	71
59	西和医療センターの移転・再整備の検討	72
16 福祉の充実		ページ
60	日本一福祉の進んだ地域を目指す「福祉の奈良モデル」の構築	73
61	重症心身障害児(者)の地域生活の支援	74
62	出所者の更生・就労支援	75
17 だれもがいつでもどこでもスポーツできる環境づくり		ページ
63	だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくり	76
64	奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討	77
65	まほろば健康パークの機能強化	78

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、
奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

18 教育の振興		ページ
66	(仮称)奈良県立工科大学の設置推進、奈良県立大学の教育充実	80
67	県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化	81
68	県と大学との連携強化	82
69	高校生年代の学びとはぐくみ	83
70	私学の振興	84
71	教育ICTの推進	85
72	第2期奈良県教育振興大綱の推進	86
19 文化の振興		ページ
73	文化の振興	87
74	文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開	88
75	文化財の保存と活用	89
76	飛鳥・藤原の世界遺産登録	90
77	なら歴史芸術文化村の活用	91
20 海外との交流展開		ページ
78	国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展	92

VII 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、
脱炭素エネルギー政策、森林を護る施策を進める～

21 農業・農地・農村・食と農の振興		ページ
79	農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備	94
80	中央卸売市場の再整備	95
81	NAFIC教育の充実と周辺の整備	96
82	奈良県豊かな食と農の振興計画の推進	97
83	食品ロス削減への対応	98
22 畜産・水産業振興		ページ
84	食肉公社の適切な運営と大和畜産ブランド力の向上	99
85	みつえ高原牧場の整備	100
86	内水産業の振興	101
23 脱炭素時代のエネルギー政策		ページ
87	脱炭素時代の奈良県エネルギー政策	102
24 森林環境管理・林業振興		ページ
88	新たな森林環境管理制度・奈良県フォレスター制度の確立	103
89	奈良県産材の安定供給及び利用の促進、奈良の木ブランド戦略	104

VIII 誇らしい「都」をつくる

～奈良のポテンシャルを最大限に活かしたまちづくりを進め、
地域の新たな未来を切り開く～

25 南部・東部の振興		ページ
90	南部・東部の都づくり	106
26 大和平野中央部の振興		ページ
91	大和平野中央田園都市構想の推進	107

Ⅸ 爽やかな「都」をつくる

～奈良が持つ行政資源を総動員し、効率的・効果的な行財政
マネジメントを行い、行き届いた行政サービスを届ける～

27 奈良モデルの実行		ページ
92	市町村と連携したまちづくりの推進	109
93	近鉄郡山駅周辺のまちづくり	110
94	県立医科大学周辺のまちづくり	111
95	王寺駅周辺のまちづくり	112
96	奈良県総合医療センター跡地のまちづくり	113
97	県域水道ファシリティ・マネジメント	114
98	ごみ処理広域化奈良モデル	115
99	市町村財政健全化・財政支援の検討	116
28 行政マネジメント		ページ
100	県庁版「良い人材が集まり、育つ」職場の実現	117
101	県有資産のファシリティマネジメント(維持・管理・活用)	118
102	地域デジタル社会の構築による県民の幸福な生活の実現と地域の持続的発展	119
29 財政マネジメント		ページ
103	県財政中長期運用方針と県債の管理	120
104	税徴収率向上と適正課税推進	121